

……♡

意識しろお……♡

……挿入ってくる……♡

……こんな大声で……♡

ベロオッ

ひくっ

……ポをしっかり包め……♡

……腔奥だ……♡

……挿れるからな……♡

モわ

(先生からの指導は……
街中でもお構いなしに……)

和栗い……ん？
泣いてんのかあ？

んんん

んんん

んんん

休みの日まで付き合ってくれるとは
殊勝な心掛けじゃねえか……♡

はい……

ベタッ

ベタッ

んんん



っ……!!?

(店の中なのに……!!?)

気にせず食ってていいぞお……♡

しかし……♡

何度見てもウシみてえな乳……♡

びん

うる

うる

学内で揺らしまくり……♡
誘ってんだろ……あ?

さ……誘っては……

ベタ

ベタ



っ!!?
いや……見られます……からっ

店員からは
見えねえよ……♡

ドキ

!?

こんなデカ乳隠しやがって……♡
勿体ねえよなあ……♡

まあ……俺だけのモンならいいかあ……♡

ベロン

ベタ

びく

びく



(そして……さも当然のように……)

感度も……態度も……
まだまだだが……♡

ドキ

!?

和栗が立派な淑女になれるよう
俺がしっかり開発してやるからなあ……♡

んじゃ……先待ってっから……♡
食ったらすぐホテル来いよ……♡

ベロン

ベタ



あの……
どう……しましたか？

あ……

(金髪の……店員さん……?)

私……

く……

ドキッ

ぎゅっ

うる……

ドキッ

ヒリッ

ヒリッ



へへ……♡
やっぱスゲー爆乳っ♡

（店員さん……
もう二度話してみたい……）

教えた通り言ってみろお……♡

っ……

ヒッ……

もわ……

フー……

フー……



モワッレ

く……ください……
先生の……ください……っ

まあ十分だな……♡
今はこの初々しさを
楽しむか……っ♡

びくっ

ギョッ

ペロオッレ

びくっ

お……あつたけえっ……♡
俺だけの……特待生マ○コお……っ♡

モワッレ

グッ

ズッ

ズッ♡

和栗っ……♡
ナマ膣意識しろお……♡

（いや……挿入ってくる……っ
それに……こんな大声で……っ）

ベロオ……

俺のチ○ポをしっかりと包め……♡

そうそう……膣奥だ……♡
ゆっくり挿れるからな……♡

グ……

クフ……

ズ……

ズ……

う……ううううう……っ!?

この……太い……のが……っ

モわっ
苦しい……っ

子宮圧し上げてんの……っ

お前をオナナにした

チ○ポだぞお……っ

集中して感じろお……っ

っ!

んっ

モわっ

ん

ん

必死で声ガマンしやがって……♡
認めろよ……♡

(昂にも……家族にも
気づかれてはダメ……っ)

ペロオ……

これから和栗が
色んな男と出会っても……♡

俺がハジメテの相手だからなあ……っ♡

(私が我慢すればいいから……っ)

ニョ

ニョ

お……っ♡
食いつきすぎ……っ♡

和栗の特待生マ○コに
チ○ポ吸われる……っ♡

ひゅっ

ピストンさせろ……っ♡
もう射精すからなあ……♡

俺のザーメンの味……っ♡
しつかり……覚えてろお……っ♡

フェ
フェ
フェ
フェ

もわっ

ハ
ハ

ハ
ハ

オラっ♡ オラっ♡
子宮に集中しろ……っ♡

うううっ!!
うう!!
うう……っ!!

俺の遺伝子っ♡
流し込むからなっ♡

(嫌……また出される!!?)

フェ
フェ
フェ
フェ

モわレ

ハ
ハ
ハ

ハ
ハ
ハ



お……お……射精る……っ♡
若えナマ膣に全部……射精すっ♡

（膣内に……先生のが……っ♡）

溜まったら即……

和栗の子宮でこき捨ててやる……っ♡

おっほお……♡
たまんね……えっ♡

びくっ

もわっ

ぐゅっ

ぐわっ

びく～

びく

ぐわっ

ぐわっ

お前は卒業するまで
俺のオンナなんだからよ……♡

他のオトコに
色目使うんじゃないぞ……♡

いいか？ ん？

は……はい……
ありがとうございました……

（店員さん……また会いたいな……）



すっぴん

♡

♡